11月16日(木)、惠木勇也先生(御面屋 惠木舞工房神楽面師)、女優の長谷川亜弓先生(うずめ劇場劇団員)、大場宙先生(嘉戸神楽社中)にご講演をしていただきました。惠木先生から「石州和紙による面づくり」、「石見神楽の歴史」等についてお話をしていただいた後、大蛇の実演や生徒の体験指導をしていただきました。

「石見神楽面は良質な粘土・石州和紙があることで誕生し

た奇跡的な工芸品である。この地に生まれた誇りをもって、好きなことを続けて自分の武器をみつけ、人に喜んでいただける仕事ができ、幸せである。皆さんも、自分の武器をみつけて頑張ってください。」という惠木先生のお話がとても心に残りました。来年の2月に惠木先生は東京で個展、長谷川先生は東京芸術劇場で舞台のご出演が予定されているとのことです。ぜひ、ホームページ等でご確認ください。



家電解体チャレンジ

を実施しました

10月28日(土)、『いわみん2023秋』「家電解体チャレンジ」を実施し、多くの子どもさんに参加していだき、保護者の皆様と一緒に家電解体をしていただきました。最初は恐る恐るの様子でしたが、保護者の皆様にもお手伝いをしていただきながら、好きな家電をバラバラに解体し、家電のしくみについて考えていただきました。ご参加いただいた皆様、家電をご寄贈いただいた当校の保護者の皆様、ありがとうございました。

就態大会を行いました

11月14日(火)、球技大会を行いました。今回の球技大会ははなまる日本語学校の皆さんをお呼びし、バスケットボールとサッカーを行いました。両校、コミュニケーションをとりながら楽しく競技を行うことができました。また、今回からサッカーコートを野球場に設け、体育館横からすぐに応援に行けるようにしたり、決勝戦の選手入場を盛り上がるようにペンライトを配布したり、トロフィーやメダルをデジファブで製作したりするなど、体育委員を中心に計画、実行しました。3年生は最後の球技大会ということもあり、とても良い思い出になりました。

(文:AE3 平石 留唯)







2年生がインターンシップに参加しました

11月8日(水)から10日(金)の3日間、私は日本製紙株式会社にインターンシップに行き、貴重な体験をさせていただきました。日本製紙株式会社では紙を作っているのではなく、木材チップから様々なものを作っており、私たちの身近にある食品や化粧品、文房具などに入っています。今回のインターンシップでコミュニケーションの大切さや一つの商品を作るために一人で作るわけではなく、様々な人が関わって作っていることを学べてよかったです。

(文: MR2 河上 大輝)